

# 湖東地域障害者自立支援協議会

## 各専門部会

- ・ 令和 5 年度活動報告
- ・ 令和 6 年度活動計画
- ・ 令和 6 年度予算書

# 湖東地域障害者自立支援協議会

## 令和5年度 部会活動報告

### 行動障害部会

|  |
|--|
| 活動目標(令和5年度)  |
| ○行動障害のある人たちの課題について、地域と事業所が連携して実態を把握し、両者の要望や期待の調整をはかり、行動障害のある人達が安心して暮らせる方法を検討する。  |
| 取り組んだ事柄  |
| ○支援の質の向上 WG:昨年に引き続き、「在学時から卒業後までの切れ目のない支援」を実現するため、甲良養護学校の先生方と卒業後に利用されている事業所が参加して支援の引き継ぎや利用者の変化などの実際を知る研修会を行った。今年度は8月末に研修会を行ったため、中学部や小学部の先生方にも参加していただくことが容易になったと思われる。<br>○社会資源の整備・開発 WG:10月に児童部会の研修会が行われ、認証ケアマネ(上田さん)による講演「こどもの困り感って何だろう?～子どもたちの行動の背景を探るために～」を児童部会員とともに聞き、併せて行動障害を有するお子さんの支援に関するアンケートを行った。<br>○年に4回部会を開催し、参加事業所から昨今の行動障害のある人の支援についての地域課題について聞く機会をもった。今年度はBCP作成に関する話題から、特に緊急時対応への課題が出てきていた。 |
| 取り組みによる成果  |
| ○研修に学校の先生が参加されることで、統一した特性シート等の使用の重要性や、在学中からの当事者の特性、関わり方についての連携が卒業後にも生かされることの大切さを共有できた。<br>○児童部会員の方々に返答いただいたアンケート内容では、「強度行動障害支援加算」と「個別サポート加算(1)」の適切な算定が行われれば、行動障害のある受け入れの幅が広がる可能性があることが示唆された。<br>○圏域全体の問題として人材不足が突出しており、サービスを縮小・休止する事業所が出てきたことで、行動障害がある人の日中・余暇活動の組み立てがより難しくなっている状況を共有した。  |
| 令和6年度以降の方向性  |
| ○学校と卒業後の受け入れ先をつなぐ統一したツールの使用について、縦断的なケース検討を小学校、中学校の先生方ともおこない、支援者が代わっても継続される安定的なサービス利用につなげる取り組みを続ける。<br>○「強度行動障害者対応短期入所加算」について、人員配置に代わる具体的な要件を引き続き検討し、短期入所を申請している事業所への実態聞き取りを行う。聞き取った内容を部会で共有し、必要なことに関しては報告書を作成する(自立支援協議会アクションミーティングに向けて)。<br>○児童部会との連携(情報交換や研修の相乗りなど)を引き続き行う。<br>○行動障害のある方を受け入れているグループホーム等の見学。  |

湖東地域障害者自立支援協議会 行動障害部会  
令和6年度部会活動計画

1.目的

○行動障害のある人達の課題について、地域と関係機関が連携して実態を把握し、両者の要望や期待の調整をはかり、行動障害のある人達が安心して暮らせる方法を検討する。

2.令和6年度活動計画

○これまで2つあったワーキンググループを、地域課題により3つに分け、さらに具体的な課題解決の方法を検討しやすい体制にする。→「①在学時から卒業後の切れ目のない支援を実現するためのWG」

「②グループホームでの支援、立ち上げにかかるWG」「③児童期の課題を考えるWG」（いずれも仮称）

○①WGでは、過去2年間に行った甲良養護学校と生活介護事業所との縦断的なケース検討を継続して行い、当事者の特性や支援方法についての共通したツール作り、利用に向けての検討を行う。

○②WGでは、主にグループホームで行動障害のある人の受け入れの支障となっている原因等についての調査や聞き取りを行い、必要な加算や支援のための環境整備について協議する。

○③WGでは、児童部会と連携して、行動障害のある児童の受け入れについての課題について協議する。

○年に4回程度部会を開催し、課題解決に向けた協議検討を継続して行う。

3.課題

○人材不足や高齢化等により、行動援護や専門性の高い放課後等デイサービス事業所等が休止や廃止しており、行動障害のある人達を受け入れられる場をどう確保していくか、今ある事業所が行動障害のある人を受け入れられるにはどのような環境整備が必要かが喫緊の課題となっている。

4.構成メンバー（部会員）

ステップアップ21（生活介護・居宅介護・発達障害ケアマネジメント事業） 甲良養護学校 彦根学園

たんぼぼ作業所 セルプひこね れんげはうす 杉の子作業所 （福）喜創会 かいぜ寮

RASIEL 南彦根 OHANA 他参加を希望される事業所

5.体制

部会長：かいぜ寮寮長 守時康裕 副部会長：なし

事務局：彦根市障害福祉課 相談支援事業所かいぜ寮

令和6年度 湖東地域障害者自立支援協議会 行動障害部会 予算書

収入の部

(単位:円)

| 項目  | 金額     | 備考 |
|-----|--------|----|
| 補助金 | 54,000 |    |
| 計   | 54,000 |    |

支出の部

(単位:円)

| 項目        | 金額     | 備考           |
|-----------|--------|--------------|
| 報償費       | 40,000 | 研修会講師謝礼(2回分) |
| 旅費        | 6,000  | 研修会講師旅費(2回分) |
| 需用費       | 3,000  | 資料および印刷代     |
| 使用料および賃借料 | 2,000  | 会場借用料        |
| 役務費       | 3,000  | 資料等郵送代       |
| 計         | 54,000 |              |

# 湖東地域障害者自立支援協議会

## 令和5年度 部会活動報告

### 地域移行部会

#### 活動目標(令和5年度)

○精神科病院の入院患者、障害児者入所施設や矯正施設等の利用(入所)者の地域への移行が円滑に取り組めるように、地域移行における多様な課題を抽出していき、湖東地域における社会資源の開発を検討する。

→定例部会：年12回

➤ 個別支援会議：4月6月8月10月12月2月

- 退院支援対象者のケース検討

➤ 圏域推進会議：5月7月9月11月1月3月

- 個別事例から精神障害者の地域生活支援の各種サービスの充足状況や各種サービスの問題点の把握を行う。
- 退院に向けた病院、地域の支援を考える。
- 啓発・連携体制構築、人材育成等の研修の企画実施等を行う。

→研修会の実施：秋ごろ

- オフィス夢風舎 舎長 土屋 徹氏を講師にお招きし、当事者主体の地域移行について研修する。

→他部会との連携

- 高齢入院患者さんの現状、地域移行について障害高齢者支援部会と連携を行う。
- 退院後の日中支援の場所として就労移行部会と連携を行う。

→日中支援サービス支援型の共同生活援助事業者との連携

#### 取り組んだ事柄

- 個別支援会議 圏域推進会議の実施
- オフィス夢風舎 舎長 土屋 徹氏を講師に研修会を実施。

#### 取り組みによる成果

- 1名の方の退院にむけての実習を実施
- 入院患者さんの複数の事例の共有
- 研修会39名参加
  - 一度精神科、病院からの利用者の入所を引き受けるモデルケースをしてみようとおもった。
  - ストレンクス視点に着目し、地域で長く生活ができて背景を考える
  - 病棟の中でこの人は退院できそうかと思ったら、病院外の社会資源とのつながりを活用して少しでも動くことが大切だと思った。などの意見があった。

#### 令和5年度以降の方向性

- 個別支援会議(奇数月)
- 圏域推進チーム会議(偶数月)
- 多職種による事例検討を行う。
- 医療と福祉の情報交換を行う。

湖東地域障害者自立支援協議会 地域移行部会  
令和6年度部会活動計画

1.目的

○個別支援会議（5月7月9月11月1月3月）

退院支援対象者のケースの検討

○圏域推進チーム会議（4月6月8月10月12月2月）

地域支援体制整備にかかる業務

精神障害者の地域生活支援の各種サービスの充足状況及び各種サービスの問題点の把握を行う。

湖東地域の精神障害者に対するサービス提供の課題を整理し、その方向性について検討し、課題解決に向けて取り組む。

啓発、連携体制構築、人材育成等の研修の企画評価

2.令和6年度活動計画

○個別支援会議

5月8月9月11月1月3月に実施

退院支援対象者のケース検討

○圏域推進チーム会議

4月6月8月10月12月2月に実施

研修会の実施

個別支援会議の目的、対象者の選定について

地域課題の抽出

3.課題

○個別支援会議

本会議で検討すべき対象者の選定について、見直しの実施が必要。

○圏域推進チーム会議

圏域外の入院患者さんをどのように進めていくか？

65歳以上の方の長期入院されている方の退院をどう進めていくか？

住居部門の関係機関と連携をどのように行うか？

4.構成メンバー（部会員）

豊郷病院（NS、OT、MSW）相談支援事業所（まな、ステップアップ21）彦根市、彦根保健所、精神保健福祉センター

5.体制

部会長：ステップアップ21 木村 和弘 副部会長：未配置

事務局：彦根保健所 ステップアップ21 まな

令和6年度 湖東地域障害者自立支援協議会 地域移行部会 予算書

収入の部

(単位:円)

| 項目  | 金額     | 備考 |
|-----|--------|----|
| 補助金 | 40,000 |    |
| 計   | 40,000 |    |

支出の部

(単位:円)

| 項目        | 金額     | 備考                  |
|-----------|--------|---------------------|
| 報償費       | 20,000 | 講師謝礼                |
| 旅費        | 10,000 | 講師交通費               |
| 需用費       | 3,000  | 資料印刷代 講師水代、事務備品代、   |
| 使用料および賃借料 | 3,000  | 研修会場費               |
| 役務費       | 4,000  | 研修会広報チラシデザイン料、振込手数料 |
| 計         | 40,000 |                     |

# 湖東地域障害者自立支援協議会 令和5年度 労働部会 活動報告

労働部会

## 活動目標(令和5年度)

◎第1回定例会 福祉サービス事業所と学校・施設等との情報交換会

【6月26日(月)13時30分～15時30分 於;隣保館(豊郷町)】参加者62名

○第2回定例会 企業見学会

【9月15日(金)13時30分～・14時50分～(2部制) 於;コープしが東近江センター 35名

○第2回シンポジウム

『～医療・福祉・雇用などの支援を受けながら地域や職場で生きがい・役割を持ちその人らしく安心して暮らすことができる湖東地域をつくる～』

【11月10日(金)13時30分～ 於;豊栄のさと(豊郷町)】参加者70名

講演『就労アセスメントを活かした支援について』

講師:山口久尚氏(滋賀障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー)

シンポジウム

登壇者・敦賀桜子氏(滋賀労働局 ハローワーク彦根 精神障害者雇用トータルサポーター)

・上田慈恵氏(彦愛犬地域障害者生活支援センター ステップアップ21 認証ケアマネ)

・山本寛氏(社会福祉法人ひかり福祉会 相談支援センターあおい センター長)

<コーディネーター>森本義彦(働き・暮らしコトー支援センター)

○湖東地域就労選択支援モデル事業会議

就労の開始・継続段階の支援における地域連携の実践に関するモデル事業に申請して採択される。実際に8ケースの事例において、部会役職会議にてケース検討する。滋賀県内では湖東地域を含めて3圏域で事業が実施される。

## 取り組んだ事柄

○会員事業所様との連携を強化する目的として取り組みを実施  
企業見学会、シンポジウム、モデル事業等々多様に活動をこなす。

## 取り組みによる成果

○特にモデル事業では、精神・発達障害のある人を中心に就労選択支援(モデル事業)を実施してきた。湖東圏域では、これから相談されてくる新規の相談者にスポットを当てて地域でできる支援システムの構築を模索してきた。

## 令和6年度以降の方向性

○湖東圏域の日中活動する多様な事業所が集まり学習し、それぞれの活動内容における情報交換をする機会を引き続き作っていく。この機会を通じて日頃から、連携して活動ができるような関係性を作っていく。

(予定)定例会;第1回 6月24日(月)開催、第2回 9月27日(金)開催  
第3回シンポジウム;11月1日(金)開催



# 湖東地域障害者自立支援協議会 労働部会

## 令和6年度部会活動計画

### 1.目的

障害のある人たちの働く・活動する意欲の向上と、これに関わる願いに応えていくことのできる地域づくりを目指します。障害者の働くこと・暮らすことを支援する事業所間での情報共有と学習・連携が取れる地域づくりを目指します。

### 2.令和6年度活動計画

湖東圏域の日中活動する多様な事業所が集まり、学習し、それぞれの活動内容における情報交換をする機会を作っていく。この機会を通じて日頃から、連携して活動ができるような関係性を作っていく。また、昨年度から取り組んでいる就労選択支援制度創設に向けての取り組みも検討し実施していく。

(活動内容)

- ① 定例会；6月開催
- ② 事業所（福祉サービス or 企業など）見学会
- ③ シンポジウム；11月開催

### 3.課題

多数の福祉サービス事業者の参加集客が図れるように、取り組み内容を充実し呼びかけていく。また、会員事業所への訪問活動も試みる。報酬改定初年度にもなるため、事業所ごとの経営上の課題など情報交換を行っていく機会ともする。

#### 【構成メンバー】

圏域内の障害福祉サービス事業所（就労継続支援A型、就労移行、就労継続支援B型、生活介護）、ステップアップ21、地域生活支援センターまな、彦根学園（相談）、相談支援センターあおい、相談支援事業所かいぜ寮、相談支援センターあすなろ、ぽぽ相談室、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町、湖東健康福祉事務所、甲良養護学校、愛知高等養護学校、長浜北星高等養護学校、鳥居本養護学校、県立盲学校、信楽学園、近江学園、県立聾話学校、働き・暮らしコトー支援センター、湖東圏域内普通高等学校、滋賀県社会就労事業振興センター、サロン活動事業所、日中一時支援事業所、ハローワーク 等

### 5.体制

部会長：椋梨氏（働き・教育センター甲良）

副部会長：高松氏（Job lead）、森口拓馬氏（あじさい福祉会）

事務局：豊郷町保健福祉課、HEARTWORK 結、社会福祉法人ひかり福祉会  
働き・暮らしコトー支援センター

令和6年度 湖東地域障害者自立支援協議会 労働部会 予算書

収入の部

(単位:円)

| 項目  | 金額     | 備考          |
|-----|--------|-------------|
| 補助金 | 60,000 | 湖東地域自立支援協議会 |
| 計   | 60,000 |             |

支出の部

(単位:円)

| 項目        | 金額     | 備考                          |
|-----------|--------|-----------------------------|
| 報償費       | 10,000 | 研修会講師謝礼(5,000円/30分×(時間)×2回) |
| 旅費        | 10,000 | 研修会講師旅費                     |
| 需用費       | 5,000  | 研修会講師水代、用紙代、印刷代             |
| 使用料および賃借料 | 15,000 | 研修会会場使用料                    |
| 役務費       | 20,000 | 郵送代、手話通訳手数料、振り込み手数料         |
| 計         | 60,000 |                             |

# 湖東地域障害者自立支援協議会

## 令和5年度 部会活動報告

### 児童 部会

|   |
|---|
| <b>活動目標(令和5年度)</b>  |
| ○湖東地域における障害児童の「個の育ちを保障する」ために事業所、学校、地域と連携して「安心かつ健全な地域生活」と「個人の意志が尊重される取組」のために活動する。<br>また、こどもを取り巻く多様な課題について事業所間で情報共有し、解決に向けて取り組む。  |
| <b>取り組んだ事柄</b>  |
| ○事例研修会…年2回：11月・2月<br>○研修会…10月23日（月）（「行動障害」について）<br>「こどもの『困り感』って何だろう？～こどもたちの行動の背景を探るために～」<br>講師：滋賀県発達障害者支援ケアマネージャー ステップアップ21 上田慈恵様<br>○事業所説明会…次年度に小学校入学の保護者を主な対象として「子どもの福祉サービス説明会」をおこなう。<br>→7月にYouTubeにて「事業所紹介」と「子どもの福祉サービスと手続きについて」の動画を事前配信<br>9月に甲良町保健福祉センターにて集合型での説明会開催…29事業所がブース設置<br>○「重度行動障害児支援加算」「個別サポート加算（I）」「送迎加算の独自の加算の設置」について、提言書を作成、市町へ提出した。<br>○各学校での送迎時の対応やこどもの様子の情報共有などについての提言書を作成した。  |
| <b>取り組みによる成果</b>  |
| ○事例研修会では、前年度に引き続き事例提供事業所の困りごとをグループワークで検討し、改善案やアドバイスなどの意見交換がなされた。また、グループワークに取り組む中で事業所間のつながりができたという意見も聞かれた。<br>○研修会は行動障害部会と合同研修とし、68名（うち児童部会61名）の参加があった。感想として、「人に依存した支援」ではなく「システムに依存した支援へ」という考え方を知って有意義だった、具体的な支援の方法、記録や分析などに取り組みたいなどという意見があった。<br>○「子どもの福祉サービス説明会」については、事業所紹介動画は134回の再生回数があった。動画については保護者の意見としておおむね好評だった。また、説明会が終わってから視聴するという意見も4割近くあった。会場開催については、27家族41名の参加があった。参加者からは、利用希望の事業所との話ができたことに加え、なんとなく気になっていた事業所についても魅力を知ることができてよかったという意見が聞かれた。また、聞きたかった事業所が不参加だったのが残念だったという意見もあった。 |
| <b>令和6年度以降の方向性</b>  |
| ○「子どもの福祉サービス説明会」…令和5年度と同様に、次年度小学校に入学する児童の保護者を主な対象者とし、<br>・7～8月ごろYoutubeにて事業所紹介動画を配信<br>・9月7日（土）午前 事業所説明会（集合型）開催予定 の2本立てでおこなう。<br>○研修会を開催…「保護者とのかわり方について（仮）」日時・講師等未定<br>○事例研修会では、前年度の「行動障害」研修を受けての実践報告を行う。<br>○行動障害に関する加算については、行政・相談支援事業所等関係機関と情報共有、協議に取り組んでいく。<br>○学校への提言については、検討事項を学校ごとに整理し、具体的な提言・協議などにつなげていく。<br>○各事業所の情報について、一覧表を作成し、市町担当課などを通して情報提供してもらう。また、WEBでの提供についても今後検討していく。  |

# 湖東地域障害者自立支援協議会 児童部会

## 令和6年度活動計画

### 1.目的

○湖東地域における障害児童の「個の育ちを保障する」ために事業所、学校、地域と連携して「安心かつ健全な地域生活」と「個人の意志が尊重される取組」のために活動する。

また、子どもを取り巻く多様な課題について事業所間で情報共有し、解決に向けて取り組む。

### 2.令和6年度活動計画

○部会…原則概ね3か月に1回開催し、事業所間の情報交換及び各課題に向けた協議検討を行う。

○研修…事例検討会・講演会の開催。

・事例検討会…各事業所の資質の向上のため、部会と同日に事例検討会を開催する。

(部会・研修会開催日) 5月13日(月) 6月24日(月) …部会のみ

11月25日(月) 2月17日(月) …部会・事例検討会

・講演会…テーマ 「保護者とのかかわり方について(仮)」日時未定

○事業所説明会「こどもの福祉サービス説明会」

…利用者へのサービスについての理解・周知のため、未就学児の保護者向けに動画作成・配信、事業所説明会を開催する。

・動画配信…7～8月ごろYouTubeにて配信開始予定

・事業所説明会…日時：9月7日(土) (会場：未定)

### 3.課題

○地域の学校との連携について

…送迎時などの学校対応で事業所が困っていることや連携の好事例などをまとめ、ケースによっては学校へ提言や協議の場をつくっていく。

○行政機関との連携について

★強度行動障害児についての加算について

…「加算等に関する情報共有システム会議」にて継続して検討していく。

★事業所情報の提供について

…一覧表の形式で事業所情報を市町担当課に提供し、必要に応じて各学校や窓口にて利用いただく。

事業所の情報についてはHPへの掲載(市町、協議会など)も検討していく。

### 4.構成メンバー(部会員)

うきうきクラブ・うきうきホーム・か〜む・キッズグロース・こばんはうすさくら彦根教室・コペルプラス彦根駅前教室  
コペルプラス南彦根教室・サクラハート・さくらんぼ・Sunny・サマホリくらぶ・慈円・GIRAFFE なないろくらす  
つむぎ・なかま〜ず・にこにこルーム・ぼぼハウス・はばたき・きらめき・ひなたぼっこ・ひまわりくらぶ・ふぁみりい  
まつぼっくり・まつぼっくりII・もものお庭・発達支援ルームりんごの木・ハッピーキッズ・スマイルキッズ  
どんぐりのいえ・杉の子クラブ・ちゃいさぼりりん・ループ・彦根市発達支援センターあすなろ教室・愛犬つくし教室  
滋賀県立甲良養護学校・湖東地域障害者自立支援協議会・ぼぼ相談室・甲良町保健福祉課

※その他、必要に応じて参加を希望する関係機関、関係事務所

### 5.体制任期：2024.4.1～2026.3.31(2年間)

部会長：つむぎ 幹事：こばんはうすさくら彦根教室・なかま〜ず・ひなたぼっこ

アドバイザー：スマイルキッズ 杉の子クラブ 事務局：ぼぼ相談室 甲良町

※役に就く者が事業所の所属を外れた場合は、同一事業所内で後任を決める

令和6年度 湖東地域障害者自立支援協議会 児童部会 予算書

収入の部

(単位:円)

| 項目  | 金額     | 備考               |
|-----|--------|------------------|
| 補助金 | 65,000 | 湖東地域障害者自立支援協議会より |
| 計   | 65,000 |                  |

支出の部

(単位:円)

| 項目            | 金額     | 備考   |
|---------------|--------|--|
| 報償費           | 20,000 | 研修会講師謝礼  |
| 旅費            | 5,000  | 研修会講師旅費  |
| 需用費           | 25,000 | 研修会講師水代、<br>「子どもの福祉サービス説明会」案内ちらし<br>・当日資料印刷代<br>部会・コア会議資料印刷代 等 |
| 使用料<br>および賃借料 | 15,000 | 研修会等会場使用料  |
| 役務費           | 0      |  |
| 計             | 65,000 |  |

# 湖東地域障害者自立支援協議会

## 令和5年度 部会活動報告

### 重症心身障がい児者に関する 部会

|   |
|---|
| <b>活動目標(令和5年度)</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>○部会定例会を5月、2月に開催する。</li><li>○定例会以外は児童WG・成人WGに分けてそれぞれのライフステージの議題について話し合う。検討する議題は各WGの中で設定する。</li><li>○医療的ケア児者にも対応した24時間対応型利用制度支援事業について、継続した運用を進めていく中で、課題を整理する。</li><li>○医療的ケア児等コーディネーターとの連携を図り、地域の課題を共有し、課題解決に向けて共に検討していく。</li><li>○当事者や当事者家族が参加できる研修会の企画を検討する。また、支援者間の横のつながりができるように研修会や交流会を企画する。</li></ul>  |
| <b>取り組んだ事柄</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>○定例会議を4回、ワーキングをそれぞれ1回ずつ行いました。</li><li>○4月～8月 「医療的ケア児等コーディネーターの配置についての提言書」をまとめ、自立支援協議会より各市町首長宛てに提言をしました。コーディネーターの必要性、湖東地域で期待する役割等をまとめました。</li><li>○昨年に引き続き、児童期（放課後等デイ・短期入所）成人期（グループホーム）の課題について話し合いました。</li><li>○2月17日に「地域で安心して生活を送るために～湖東圏域で生活される在宅重症児者へのネットワーク作り～」の研修を行いました。びわこ学園医療福祉センター草津施設長の口分田先生の基調講演、各ライフステージにおける関係者からの話題提供とグループワークのフォーラムを行いました。</li></ul> |
| <b>取り組みによる成果</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>○医療的ケア児等コーディネーターの配置については、今後も引き続いての検討事項となりました。</li><li>○研修では56名の参加がありました。福祉・医療・保育・教育等、多彩な分野から話題提供を頂き、参加者も医療・福祉関係者以外に保育・教育関係から参加を頂きました。地域の保育園・小中学校の先生も参加して下さい、これからの第一歩になったと思います。</li></ul>  |
| <b>令和5年度以降の方向性</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>○医療的ケアコーディネーターの必要性について事例を通して検討を重ねていきたいと思えます。</li><li>○医療的ケア児者、重症心身障がい児者の方の「予想できる災害」への平時からの備えについて押さえるべきポイント等を整理、自立支援協議会の「誰一人取り残さない防災プロジェクト」と連携します。</li><li>○24時間対応型利用事業（セーフティネット）と訪問看護派遣事業の利用について、利用状況や課題を振り返り、緊急時に安心して利用できる制度であるように検討します。</li><li>○支援者や当事者が共に学びあい、安心して地域で生活するための研修会を行います</li></ul>  |

# 湖東地域障害者自立支援協議会 重症心身障がい児者に関する部会 令和6年度部会活動計画

## 1.目的

○本部会では、湖東地域において、重症心身障がい児者等の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会環境作りを目指す。そのために当事者や地域社会が抱える暮らしの課題について、行政・事業所・施設・医療などの関係機関が連携し、情報共有や実態を把握する。

当事者等の課題や要望の把握から、改善・解決に向けた地域資源の開発・検討に取り組む。

## 2.令和6年度活動計画

○医療的ケアコーディネータの役割や必要性について事例等を通して引き続き検討する

○医療的ケア児者、重症心身障がい児者の方の「予想できる災害」への平時からの備えについて押さえるべきポイント等を整理する。自立支援協議会の「誰一人取り残さない防災プロジェクト」と連携する

○24時間対応型利用事業（セーフティネット）と訪問看護派遣事業の利用について、利用状況や課題を振り返り、緊急時に安心して利用できる制度へ高めていく。

○支援者や当事者が共に学びあい、安心して地域で生活するための研修会を行う。

年4回（5月、8月、11月、2月）に会議をもち、その間に事務局会を開催。

年に1回研修会を開催。

## 3.課題

○医療的ケアコーディネーターの設置については令和5年度に提言書を作成した、今後も引き続き、どのような場面で医療的ケアCDの働きが必要か事例等を通して検討していく。

○重症心身障がい児者・医療的ケア児者の防災のための備えは、物品・環境・人員・移動手段等、多方面からの検討が必要である。押さえるべきポイントが整理されていれば、個別避難計画も作成がしやすい。湖東自立支援協議会でも「誰一人取り残さない防災PJ」を行っているため、部会での取り組みを統合させていく。

○24時間対応型利用制度は緊急時に利用するものではあるが、重度心身障がい児者、医療的ケア児者は、日常の関わりがない中で急に利用するのが難しい状況にある。

## 4.構成メンバー（部会員）

|                         |                      |             |
|-------------------------|----------------------|-------------|
| せいふう                    | 彦根市発達支援センター          | 森のお家（ふぁみりい） |
| 滋賀県立甲良養護学校              | 湖東健康福祉事務所（彦根保健所）     | ステップアップ21   |
| 滋賀県重症心身障害者・医療的ケア児支援センター | 葦の舟                  | じゅう楽        |
| 訪問看護ステーション連絡協議会第5支部     | 滋賀県医療的ケア児者等家族会びわちゃん丸 |             |

※部会の議事内容により、圏域内外の関係機関に参加の依頼をする。

## 5.体制

部会長： 部会長：森のお家（ふぁみりい） 柴田氏 副部会長：せいふう 古谷氏

事務局：彦根市障害福祉課・相談支援事業所ちゃれんじ・相談支援事業所てんしん

令和6年度 湖東地域障害者自立支援協議会 重心部会 予算書

収入の部

(単位:円)

| 項目  | 金額      | 備考                |
|-----|---------|-------------------|
| 補助金 | 100,000 | 湖東地域障害者自立支援協議会 補助 |
| 計   | 100,000 |                   |

支出の部

(単位:円)

| 項目        | 金額      | 備考                      |
|-----------|---------|-------------------------|
| 報償費       | 60,000  | 研修会・研究会講師謝礼(5,000円/30分) |
| 旅費        | 15,000  | 講師旅費等                   |
| 需用費       | 20,000  | 印刷代、部会資料代、事務備品等         |
| 使用料および賃借料 | 5,000   |                         |
| 役務費       | 0       |                         |
| 計         | 100,000 |                         |



# 湖東地域障害者自立支援協議会

## 令和5年度 部会活動報告

### 居宅サービス部会

|  |
|--|
| 活動目標(令和5年度)  |
| 湖東地域において、障害のある方が安心して在宅生活を続けられるよう支援するために、地域の居宅サービスの提供状況を把握し、課題について検討し必要な対応や提言を行う。   |
| 取り組んだ事柄  |
| ○年7回 定例会・意見交換会を実施<br>○湖東地域令和5年度版「居宅系サービス社会資源マップ」更新（33事業所情報を集約）<br>○研修会の実施<br>1、「事業所の運営等に関する勉強会」<br>2、「続 利用者からのハラスメント研修～困った利用者への対応～ロールプレイを通じて～」   |
| 取り組みによる成果  |
| ○社会資源マップの更新を行い指定特定相談事業所（計画相談）へ情報提供を行った<br>*新たに指定をうけた居宅サービス事業所の情報や事業所ごとの特徴、時間や曜日の空き情報を相談支援専門員へ情報提供することで、ご利用者さんのニーズ対応・スムーズなサービス調整・事業所情報の周知や運営等をサポートできた<br><br>○研修会の実施<br>「続 利用者からのハラスメント研修～困った利用者への対応～ロールプレイを通じて～」<br>参加者24名 講義とハラスメント場面を再現した演習をとおして予防策や対応方法を学んだ<br><br>○意見交換会を通して、数事業所の管理者や現場のヘルパーさんが参加し、顔のみえる関係づくりができた。事業所ごとの困りごとや他の事業所へききたいこと、困っているケースへの助言、人材確保への各事業所の対応等の情報交換ができた。 |
| 令和6年度以降の方向性  |
| ○令和6年度居宅系サービス社会資源マップ更新<br>○「よりよい支援 基本的な身体介助についての研修（予定）」<br>○意見交換会の開催（令和6年度報酬改定に関する情報交換等）   |

# 湖東地域障害者自立支援協議会 居宅サービス部会 令和6年度部会活動計画

## 1 目的

湖東地域において、障害のある方が安心して在宅生活を続けられるよう支援するために、地域の居宅サービスの状況を把握するとともに、地域で取り組める課題について検討する。

その課題解決にむけて必要な対応や提言を行う。

## 2 令和6年度活動計画

定例会部会：年6回（隔月開催 第3木曜日 午前10：00～11：30）

ZOOMオンライン

- ・湖東地域居宅系サービス事業所「社会資源マップ」の更新（年1回）
- ・R4年度より開始した居宅サービス事業所間の情報交換を主目的とした「意見検討会」継続
- ・研修会の開催（仮）  
6月「令和6年度報酬改定に関する研修会」  
10月「介護技術に関する研修会」

## 3 課題

- ・ヘルパーの高齢化や深刻な人材不足
- ・新規支援（長時間支援等）が受けづらい
- ・身体介護等についての知識や技術の向上の機会が少ない
- ・他の事業所との横のつながりや情報交換、制度等学習等できる場がない 等

## 4 構成メンバー

圏域内の居宅サービス事業所

彦根育成会・彦根市身体障害更生会・集まろう会

彦根市・愛荘町・地域生活支援センターまな

湖東地域障害者自立支援協議会事務局

## 5 体制

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 部会長  | ステップアップ21 尾見氏            |
| 副部会長 | なし                       |
| 事務局  | 愛荘町地域福祉課担当者 地域生活支援センターまな |

令和6年度 湖東地域障害者自立支援協議会 居宅サービス部会 予算書

収入の部

(単位:円)

| 項目  | 金額     | 備考             |
|-----|--------|----------------|
| 補助金 | 40,000 | 湖東地域障害者自立支援協議会 |
| 計   | 40,000 |                |

支出の部

(単位:円)

| 項目        | 金額     | 備考                  |
|-----------|--------|---------------------|
| 報償費       | 30,000 | 講師謝礼                |
| 旅費        |        | 講師交通費               |
| 需用費       | 10,000 | 研修会、社会資源マップ関連 印刷郵送費 |
| 使用料および賃借料 |        |                     |
| 役務費       |        |                     |
| 計         | 40,000 |                     |

# 湖東地域障害者自立支援協議会

## 令和5年度 部会活動報告

### 障害高齢者支援部会

|  |
|--|
| 活動目標(令和5年度)  |
| <p>○定例会を開催する。座長、事務局の求めにより、必要に応じて追加会議を開催する。</p> <p>定例会議開催予定：6月、8月、11月、令和6年2月に開催。</p> <p>湖東地域において、障害高齢者の方々が安心して暮らせる社会環境作りを目指す。そのために当事者や地域社会が抱える課題について、障害福祉分野・介護福祉分野双方の行政・事業所等の関係機関が連携し、情報共有や実態把握を行い課題解決に向けて取り組む。</p>   |
| 取り組んだ事柄  |
| <p>【1】昨年度までの活動についての振り返りおよび今年度の活動について意見交換</p> <p>昨年度までの会議でできた課題等を共有し、令和5年度も引き続き事例検討を行い、障害事業所および介護事業所の見学をすることとなった（障害事業所の見学は令和6年度に実施予定）。</p> <p>【2】事例検討を通して障害から介護への移行に関して必要なことは何か考えた。</p> <p>知的障害の方で障害から介護への移行を行った方のケースを扱った。64歳の時点で移行連携検討会議等を実施し、時間をかけて障害福祉サービスから介護保険サービスに移行された方で、本人・家族が安心して介護保険に移行できるようになった事例であった。</p> <p>【3】通所介護施設見学。</p> <p>【4】施設見学や事例検討でできた介護移行の際の課題の共有や、令和6年度の活動についての意見交換。</p> |
| 取り組みによる成果  |
| <p>○通所介護施設の見学をしたことによって、そこにはどのような利用者がいるのか、事業所の課題は何かなどの実態を障害関係者が把握することができた。例えば、利用者は80代以上の後期高齢者がほとんどなので65歳になったからといって安易に介護保険に移行し通所サービスを受けさせると、親と子ほどの年齢差が生じてしまうこととなるなどの課題があることがわかった。また、障害福祉サービスの生活介護を受けている方も適応できそうという意見もでた。</p> <p>障害高齢者の方への支援を行う上では、高齢者福祉・障害者福祉に係る福祉関係者同士がお互いの制度の現状や課題を共有することが重要であることを再確認できた</p>   |
| 令和6年度以降の方向性  |
| <p>○共生型サービスを提供している事業所の見学や関係者との意見交換。</p> <p>○令和5年度できなかった介護関係者向けの障害福祉事業所見学。</p> <p>これらを通して、障害・介護双方で意見交換をし、障害と介護のギャップを埋められるよう努める。</p>   |

湖東地域障害者自立支援協議会 障害高齢者支援部会  
令和6年度部会活動計画

1.目的

○本部会では、湖東地域において、障害高齢者の方々が安心して暮らせる社会環境作りを目指す。そのために当事者や地域社会が抱える課題について、障害福祉分野・介護福祉分野双方の行政・事業所等の関係機関が連携し、情報共有や実態把握を行い課題解決に向けて取り組む。

2.令和6年度活動計画

○部会定例会を開催する。部会長、部会事務局の求めにより、必要に応じて追加会議を開催する。

部会定例会議開催予定：6月、8月、11月、2月（計4回開催予定）

○部会定例会の間の月に、事務局会議を開催する。事務局会議にて、部会定例会に図る議題の整理やデータ収集、整理、または課題集約等を行う。

部会事務局会議開催予定：5月、7月、10月、1月

○共生型サービス事業所の施設見学や関係者からのお話を伺い、仕組みや現状の課題等を共有する。

○障害福祉サービスや介護保険サービスの現状を知るための学習会を行うことによって双方のサービス内容や特徴の理解を深める。

3.課題

○障害関係の事業所および介護関係の事業所は、お互いのサービス内容についての理解が十分でない。サービス内容だけでなく制度についても、利用者の障害特性等についても理解があまり進んでいない現状である。お互いの理解が深まることにより、適切かつ円滑な介護移行ができ、利用者や家族にとってもよりよいサービスが受けられるようになると考える。

4.構成メンバー（部会員）

- ・当事者家族・障害福祉事業所・相談支援事業所・一市四町障害福祉担当者
- ・介護保険事業所、介護支援専門員・基幹相談支援センター・共生型サービス事業所（予定）
- ・その他協力機関

※協力機関は、部会の議事内容により招集を依頼する。

5.体制

部会長：相談支援事業所てんしん 廣田氏

事務局：多賀町、相談支援センターあおい

令和6年度 湖東地域障害者自立支援協議会 障害高齢者支援部会 予算書

収入の部

(単位:円)

| 項目  | 金額     | 備考                |
|-----|--------|-------------------|
| 補助金 | 40,000 | 湖東地域障害者自立支援協議会 補助 |
| 計   | 40,000 |                   |

支出の部

(単位:円)

| 項目        | 金額     | 備考                      |
|-----------|--------|-------------------------|
| 報償費       | 20,000 | 研修会・研究会講師謝礼(5,000円/30分) |
| 旅費        | 0      |                         |
| 需用費       | 20,000 | 印刷代、部会資料代、事務備品等         |
| 使用料および賃借料 | 0      |                         |
| 役務費       | 0      |                         |
| 計         | 40,000 |                         |